

## 第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

### 報告書資料 一般-37

学校名・団体名	須坂市立仁礼小学校
HPアドレス	<a href="http://www.nire-school.ed.jp/index.html">http://www.nire-school.ed.jp/index.html</a>
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	郷土の山の土で作った土笛を演奏しよう
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>地域の土で作られた土笛を、地域で活動している土笛の会のみなさんから教えていただきながら練習し、地域で演奏していく活動を通して、学級・学年での達成感や一人一人の自信を高めながら、地域と自分とのつながりをより深めていく。</p>	

## 1 活動時期・内容

期 日	内 容
7月	社会科の地域学習の中で、須坂市にある鎌田山の土を使って製作された「土笛」の活動が行われていることを知る。 仁礼地区在住の池田志う子さんを中心に活動している「須坂土笛の会」のみなさんに会い、土笛の演奏を聴く。子どもたちひとり一人の土笛の製作をお願いする。
9月	出来上がった土笛を受け取る。製作して下さった先生から、土笛の仕組みや使い方や音の出し方を教えていただく。参観日に合わせて行ったので、保護者の方々にも見ていただくことができた。
10月・11月	月に2回、各学級で土笛の会の方のみなさんに、姿勢・音の合わせ方・運指・タンギングなどの練習を通して、曲が吹けるように練習する。
1月	2学期の終業式で、今までの地域学習や土笛の会の方との交流活動を発表し全校に演奏をした。子どもたちから土笛の会の皆さんにメッセージを届け、終業式に招待し発表を聞いていただいた。
2月	参観日に今までの総合的な学習での土笛の取り組みや土笛の会のみなさんとの交流の様子を入れながら、土笛の演奏の発表をした。

## 2 子どもたちの様子

### (1) 土笛を知り、自分の土笛になる

土笛の会の皆さんの演奏を聞くと「土で作っているのに素敵な音が出るのですごいと思った」という感想をもった。また、その土笛はどんな風に作られているのかや仕組みについて、とても興味を持ちはじめた。演奏を聞いた後、子どもたちは「土笛の活動をしてみたい」と意欲をもった。

自分の土笛ができあがり実際に手にすると「土笛は少し重かったです。音はとてもきれいでした。もっと練習して、いろんな曲を土笛でやりたいです」と活動に前向きになり運指を覚え曲を吹いてみたいという気持ちを高めた。



### (2) 交流・練習

須坂土笛の会のみなさんに運指や音の合わせ方などを教えていただいた。土笛は子どもたちにとって予想以上に難しい面があったが、わからないところを聞いたり上手になった所をほめていただいたりして、子どもたちの大きな自信につながっていった。「初めはむずかしかったけど、土笛の会の方々におしえてもらって上手に楽しくできるようになった」と感想をもった。練習を重ね2学期終業式の学年発表に土笛の会の方を招待し、全校に演奏をした。子どもたちの発表に土笛の会の方は感動され涙を流しながら聞いて下さった姿がとても印象に残った。



### (3) 子どもたちの願い

子どもたちは、土笛の良さや自分たちの演奏をこれからももっと発信していきたいという願いを持ちはじめた。数人のグループに分かれて4曲の新しい曲にも挑戦した。3学期の参観日の発表にむけて練習もはじめた。「土笛の会のみなさんに教えてもらって、こんなにうまくなったよと伝えたい」「今までの練習の成果を全部伝えたい」と参観日前に自分の気持ちをもって。参観日にはすてきな演奏を披露し、地元の新聞でもその様子が取り上げられた。



## 3 成果・課題

子どもたちは、自分だけの土笛をもち、地域の方々と交流することで土笛のよさを感じ地域の文化を大切に育むことができた。美しい音色を出すために土笛の会のみなさんとの関わりながら練習に取り組んだことで地域の方への感謝の気持ちをもつことにつながってきている。土笛の音色に子どもたちは魅せられ、活動に誇りをもち「もっとたくさんの方に伝えたい」と強く願うようになってきている。今年度の活動をもとに来年度は、校外での発表する機会も設けていくことで、地域との関わりをより深め、一人一人の自信や学級・学年での達成感が持てるようになりたい。そして、地域の伝統や文化をより深く学び、地域と自分たちのつながりをさらに深めていきたい。